

# 大阪市立大学大学院 都市経営研究科 都市経営専攻修士課程 医療・福祉イノベーション経営コース 2018(平成30)年度冬季学生募集の概要

2017(平成29)年11月

大阪市立大学大学院都市経営研究科では、2009～2017年度まで本学経営学研究科で総計約90名が受講した社会人プロジェクト研究「医療・福祉イノベーション経営」を発展的に継承し、2018(平成30)年4月から修士課程で「医療・福祉イノベーション経営」の研究に取り組む社会人大学院生を募集します。先例のない高齢社会を迎え、わが国の医療機関や社会福祉施設、市民公益団体は、業務・活動の質・安全・効率性の向上、実践知に富む高度専門人材の育成・確保、患者・利用者価値・満足度の向上、地域医療・福祉の拡充など、多数の複雑な経営課題への同時並行的取り組みを求められています。本コースでは、こうした経営諸課題の達成に資するイノベーション(業務・組織革新)を連続的に実現する医療・福祉組織のイノベーション経営モデルと行動計画を、受講生が各勤務先組織で実践しつつ研究(アクション・リサーチ)します。

医療分野では法人理事・医師・保健師・助産師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・診療放射線技師・管理栄養士・その他のコメディカル・事務部門管理職、社会福祉分野では社会福祉・NPO 法人理事・施設長・社会福祉士・精神保健福祉士・保育士・ケアマネージャー・事務部門管理職など、医療・福祉の現場でイノベーションを実現する強い意欲をもつさまざまな専門職と経営・管理職、その他、医療・福祉組織の経営革新に強い関心と意欲をお持ちの方々の、積極的な応募を期待します。

※本概要は2017年11月現在の予定であり、今後変更になる可能性があります。出願資格・方法、試験、学費等に関する確定情報と詳細は、学生募集要項と出願書類を必ずご確認ください。出願書類の入手方法は、本学ホームページ(<http://www.osaka-cu.ac.jp/>)の「入試情報>大学院入試>募集要項等配布時期・資料請求」の項をご覧ください。

入学時期・1学年あたりコース標準履修者数：2018(平成30)年4月入学・14名程度を想定

(※試験の成績により、合格者数が募集定員に達しない場合があります。)

開講日時：主に4～7月(前期)および10～1月(後期)の毎週2日夜間(17時30分～21時20分)

※1年次前期のみ平日1日夜間と土曜昼間、1年次後期以降は平日2日夜間の開講を計画しています。

開講場所：大阪市立大学 梅田サテライト(大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階)

修了条件：2年間以上在籍し、基礎科目3単位、中核科目の講義系科目6単位(「イノベーションマネジメント論」を含む)、中核科目の演習系科目6単位、関連科目3単位、基礎・中核・関連科目から8単位、研究指導科目4単位を含む、合計30単位以上を取得し、必要な研究指導を受け、修士論文ないしリサーチペーパーを提出し、最終試験に合格すること。

※2017(平成29)年度学費等：授業料年額535,800円・入学金382,000円(大阪市住民及びその子222,000円)。2018(平成30)年度入学者の金額は変更されることがあります。在学中に授業料改定が行われた場合は改訂後の授業料が適用されます。

取得可能学位：修士(都市経営)

選抜方法(社会人一般選抜)：口述試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。

出願資格(社会人一般選抜)：概ね3年以上の実務経験を有する大学卒業者

※保健師・助産師・看護師・臨床検査技師・診療放射線技師・理学療法士・作業療法士・臨床工学技士等として一定の実務経験を有し、学士の学位をもたない方は、本研究科で出願資格認定を受けることにより出願できます。希望者は、学生募集要項に従って、2017年11月30日(木)(予定、当日消印有効)までに必要書類を提出してください。

冬季募集出願期間：2018(平成30)年1月4日(木)～1月10日(水)(予定、1月10日消印有効)

冬季募集口述試験：2018(平成30)年2月17日(土)9:00～19:00 大阪市立大学 梅田サテライト(予定)

(※受験者多数の場合2月16日(金)にも口述試験を実施。各受験者の口述試験日時が記載された受験票は1月25日(木)発送予定。)

## コース標準カリキュラム例 (計画中)

	1年次(M1)前期(4-7月)		1年次(M1)後期(10-1月)		2年次(M2)前期(4-7月)			2年次(M2)後期(10-1月)	
	平日	土曜	平日1	平日2	平日1	平日2	土曜	平日1	平日2
17:30-18:20	(選択)	09:30-17:30に基礎科目を開講(ミクロ)	共生社会と医療倫理	医療イノベーション経営	医療イノベーション経営ワークショップ(隔週)	研究指導 I	09:30-17:30に関連科目(選択)を開講(ダイバーシティスタディーズ等)	研究指導II	研究指導II
18:30-19:20	イノベーションマネジメント論	経済論、経営学概論、研究方法論、都市地域社会調査分析等)	地域福祉社会論	福祉イノベーション経営	福祉イノベーション経営ワークショップ(隔週)	(選択)		(選択)	職域健康増進(選択)
19:30-20:20	課題演習 I		知識創造組織	課題演習 II		(選択)		(選択)	(選択)
20:30-21:20						(選択)		(選択)	(選択)

他に、M1 前期に基礎科目として経営倫理、研究倫理、関連科目としてイノベーション経営演習(リーダーシップ)、M1 後期に中核科目として医療・福祉イノベーション経営倫理演習、関連科目としてイノベーション経営演習(リスクマネジメント)を、夏季・冬季休業期間中等における集中講義形式で開講。

## 主なコース推奨中核講義・演習科目の概要（予定）

医療・福祉イノベーション経営課題演習	知識経営、専門職・ヒューマンサービス組織、省察的实践、高信頼性組織、状況的学習等の視点から、わが国の医療・福祉組織の課題を分析し、患者・利用者へ新たな価値を提供するイノベーションと人材育成を軸とする、医療・福祉組織の持続可能なイノベーション経営に関する文献の輪読・講読、受講者の研究報告、フィールドワーク等を行う。
イノベーションマネジメント論	イノベーションに関する基礎概念を理解した上で、近年の社会経済環境の変化に対応するための変革能力、最新のイノベーション理論について学ぶ。
医療イノベーション経営	医療政策・制度と医学・医療技術の発展と展望、医療事業の経営分析、医療組織のガバナンス、地域医療連携、患者満足向上、医療の質・安全保証とチーム医療、医療情報システム、医療人材の育成と評価・動機づけ等を学ぶ。
福祉イノベーション経営	社会福祉政策・制度の発展と展望、福祉人材の育成と評価・動機づけ、居住福祉・地域福祉の現状と課題、非営利組織の経営課題と社会福祉法人の社会貢献事業等を学ぶ。
知識創造組織	官僚制研究、非公式組織研究、組織のオープンシステムアプローチ、組織文化・学習研究、新制度派組織研究等の基礎概念を理解した上で、知識創造型組織の理論と実践、組織変革のためのアクション・リサーチについて学ぶ。
共生社会と医療倫理	人権・社会教育・多文化共生社会の社会学と医療倫理、専門職倫理等の分野における国内外の主要な関連諸研究と先進・示唆的实践を紹介し、多文化共生社会における医療の新たな可能性について理解を拓き深めていく。
地域福祉社会論	医療・福祉社会学の重要トピックである苦悩(suffering)という概念に着目し、主に、人間の苦悩と構造的暴力、医療により癒されない患者の苦悩、病いの語り、語りえぬこと、医療者の苦悩、医師の役割意識と苦悩、多職種連携、摂食障害、認知症、在宅医療、障害者などについて学ぶ。
医療イノベーション経営ワークショップ	医療政策・制度と医学・医療技術の発展と展望、医療事業の経営分析、医療組織のガバナンス、医療の質・安全保証、医療人材の育成と評価・動機づけ、医療情報システム、患者満足向上、地域医療連携のテーマについて外部講師による講義・討議を行う。一部講師は大阪府医療勤務環境改善支援センターの協力で招聘する。
福祉イノベーション経営ワークショップ	社会福祉政策・制度の発展と展望、社会福祉法人のガバナンス改革と社会貢献、大阪の社会福祉とアントレプレナーシップ、福祉人材の育成と評価・動機づけ、地域・障がい者福祉の現状と課題、高齢者ホームのイノベーション経営のテーマについて外部講師による講義・討議を行う。一部講師は大阪府社会福祉協議会の協力で招聘する。
医療・福祉イノベーション経営倫理演習	医療・福祉組織のイノベーション経営における経営倫理上の主要問題の基礎知識を理解すると共に、これらを熟慮し倫理的リーダーシップを発揮するために不可欠の倫理的認識力・想像力を、演劇や映像、詩、オブジェ制作などアート技法やレゴ・ブロック等を用いたグループワークを通じて実践的に習得する。

## 受講者・研究テーマ例（※2009-16年度経営学研究科社会人プロジェクト研究実績）

職種別受講者数	看護管理者 26 名、社会福祉分野法人経営・(事務部門)管理職 26 名、病院・診療所経営・(事務部門)管理職 17 名、医師 5 名、(病院・薬局)薬剤師 5 名、その他 9 名(行政保健師、臨床工学技士、病院管理栄養士、MR 等)
研究テーマ例	医療・社会福祉法人(グループ)の法人(グループ)経営・ガバナンス・社会貢献、社会福祉施設・病院・診療所によるアウトリーチとまちづくり参画、高齢者・障がい者・児童等福祉施設・支援組織の専門人材確保・育成と利用者価値向上、病院・在宅看護・介護事業所・高齢者施設等での高度熟練看護・介護職の育成・活用・評価・処遇、自治体病院・大学病院の経営・組織改革、小規模医療・社会福祉組織の戦略提携(業務・人材)による業務改善・人材確保・育成・経営持続性向上、病院経営(事務)職、診療情報管理士、(病院・薬局)薬剤師、臨床工学技士、病院管理栄養士の新たな役割等

## 研究指導予定教員・専門分野（詳細なプロフィールは研究科パンフレットをご覧ください）

川村尚也(知識創造組織)、服部俊子(医療倫理)、阿久澤麻理子(共生社会)、新ヶ江章友(地域福祉社会)、岩崎安伸(医療経営)

## お問い合わせ

本コースの教育・研究内容や出願資格等に関するご質問は [kawamura@bus.osaka-cu.ac.jp](mailto:kawamura@bus.osaka-cu.ac.jp) 宛にお問い合わせ下さい。

※本コースでは、入学後の効果・効率的な学習・研究を保証するために、事前開催する入試説明会等に参加して、コースの教育・研究内容を十分理解した上で出願を検討するようにお願いしています。

夏季・冬季に複数回開催される入試説明会に出席できない方、あるいは各季の説明会がすべて終了した後に出願を検討される方は、上記メールアドレスで担当教員に連絡をとり、教育・研究内容について面談等による説明を受けて下さい。